

【分野別目標指標の評価区分と判断基準】

区分	評価内容	主な判断基準	指標数	割合
A	目標値に達した	目標値以上	2	11.1%
B	目標に近づいた	ベースライン値から現状値までの数値変化の割合（増減率）が、指標の方向に対して+5%超	3	16.7%
C	変化なし	ベースライン値から現状値までの数値変化の割合（増減率）が、指標の方向に対して±5%以内	8	44.4%
D	目標から離れた	ベースライン値から現状値までの数値変化の割合（増減率）が、指標の方向に対して-5%超	5	27.8%
E	評価が困難	ベースライン値から現状値までの数値変化の割合（増減率）の比較ができない等、指標評価が困難	0	0%
合計			18	

【指標数値の増減率】

$$\text{増減率(\%)} = \frac{(\text{現状値} - \text{ベースライン値})}{\text{ベースライン値}} \times 100$$

指標の達成状況について

【方法】

○ ベースライン値と現状値分析する。評価については、指標の達成状況とは別に各分野の指標の年次推移をや数値変化については、社会的背景も勘案するものとする。

○ 評価は、健康日本21(第二次)の評価方法と同様に「A(目標達成)」「B(目標に近づいた)」「C(変化なし)」「D(目標から離れた)」「E(評価が困難)」の5段階で評価する。

原則として、増減率(数値の相対的变化)5%を基準に評価するとともに、適宜必要な分析を行う。

○1つの評価項目に指標が複数あるものに関しては、平均点で、総合評価をつける(A:5、B:4、C:3、D:2として平均を算出)